

県政 愛知県議会議員 2012 そのやま康男

がんばるNEWS

岡崎から県へ発信します!

岡崎はもっと良くなる!

内部資料 平成24年 新春号 第15号

そのやま康男事務所
〒444-0005 岡崎市岡町南屋敷17-1
電話(0564)64-1888 FAX(0564)64-1887
ホームページ <http://www.sonoyama-yasuo.jp/>
Eメール info@sonoyama-yasuo.jp



愛知県知事 大村 秀章

新年あけましておめでとうございます。
平素より県政運営に際し皆様方よりご理解とご協力いただき心より感謝を申し上げます。

さて先の大阪市長選挙・大阪府知事選挙、いわゆる大阪秋の陣におきましては、地域政党大阪維新の会が圧倒的な支持を得て民意が示されました。

これは大阪都構想が市民・府民の皆さんに支持された結果であり、私が掲げる中京都構想にとっても大きな弾みとなりました。

園山さんは私が会長を務める地域政党日本一愛知の会の公認の県議会議員であり、真の独立で世界と闘える愛知を目指す同志です。

これからの政治活動の拠点となる事務所開所式にも出席しました。市議会の経験を踏まえ、県議会でも様々な分野で積極的に活動され、私を支えていただいています。

これからも、しっかりとスクラムを組み、県政発展にスピード感を持って取り組んでまいります。
今後ともよろしくお願ひいたします。

平成24年1月吉日
愛知県知事 大村 秀章



さらなる改革を

新年のご挨拶

愛知県議会議員 そのやま康男

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は私にとって難しい岐路に直面し、大きな決断を迫られた年でありましたが、これを乗り越え大村知事(県)と岡崎市のパイプを繋ぐことが出来たのは、皆様深いご理解と真心のこもったご支援の賜物と心から感謝申し上げる次第です。

さて、本年の県議会では文教委員会、行財政改革・道州制調査特別委員会に所属して全力で活動しております。本県の経済状況は東日本大震災の影響により依然として厳しさが続いております。エネルギー問題、アメリカ経済の減速やヨーロッパの債務問題を背景とする歴史的な円高、デフレにより景気の先行きや税収の見通しは一段と不透明となっております。こうした状況を踏まえ、岡崎市でも行革大綱に係る重点プログラムで県立病院がんセンター愛知病院(欠町)、岡崎総合運動場(真伝町)、野外教育センター(千方町)の見直し、あり方の検討が協議されています。結論が出るまでには時間がかかると思いますが、しっかりと議論してまいります。最後に、これらから、ブレることなく地域のことは地域で決める地域主権を中心に様々な分野での政策を推進します。また公正かつ清廉に全体の奉仕者として負託に応えなくてはならないことを肝に銘じ、議員活動を行っていくことをお誓いし、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成24年1月吉日
愛知県議会議員 園山 康男

公職選挙法により年賀状は自粛させていただきます。お許し願ひいたします。

地元要望 (5月20日)

市議会議員と地元要望を聞きに市内を回りました。
やはり写真や地図ではなく、現場を直接見ることは大切です。継続の事や新規の事がありました。
間もなく初めての県議会が始まりますが、しっかりと要望してまいります。



本会議 代表質問 (6月29日)

いよいよ本会議が始まりました。
本日は各会派の代表質問です。わが会派からは、①大村県政推進における減税日本一愛知の基本姿勢について、②雇用確保対策等に十分配慮した地域経済振興施策の充実、③東日本大震災を踏まえた県民生活の安心・安全施策の充実、④超高齢社会に対応した福祉政策の充実、⑤教育立県あいちにふさわしい教育の充実と愛知の魅力を発信する芸術文化の振興、⑥COP10の成果継承と環境首都を目指した環境政策の充実、⑦総合的な防災対策や交通体系の確立を目指した社会基盤整備の推進、⑧行財政改革への積極的な取組と地方分権の推進、の八項目について質問しました。



前日は県議会「減税日本一愛知」と市議会「減税日本ナゴヤ」が合同し、大村知事を講師に政策懇談会を行いました。

まずは自分たちが頑張ることで日本を浮上させる、そのためには経済産業の振興、経済の自立なくして発展はない、税金が入らないと教育・福祉もできない、中京都創設はその手段であるとして、中京独立戦略本部の体制イメージ説明がありました。

文教委員会 (7月11日)

この日、第1回目の文教委員会が終了しました。
議案付託された一般会計補正予算の内、教育費を審査し採決を行いました。その後の一般質問では、

- ①教育委員の選任について… 県教育委員会の委員構成メンバー、職業、選任にあたっての配慮。三河・尾張の地域分けの考え方。
- ②教員の確保について… 大量退職が続く中、優れた人材の確保の対策。採用後の転職・県外再採用の状況。
- ③原発事故に伴う放射線量の測定に関する情報について… 東京電力福島第一原子力発電所の事故発生以降の本県の環境中の放射線量の測定結果、アクセス方法、学校関係に対しての周知方法を質問しました。



国際交流 国際貢献に関する勉強会 (7月22日)



愛知県は人口約740万人でスイス、ブルガリア、イスラエルとほぼ同じです。県のGDP(国内総生産)は、35兆円から40兆円とスイス、スウェーデンのGDPとほぼ同じです。

したがって愛知県は人口・経済なら独立できる規模と言えるでしょう。しかし、実際に世界と競争するならば、考え方もグローバルな視点で物事を考え、実際に海外へ出かけ国際感覚も身につけなければなりません。
今回はアメリカ合衆国マサチューセッツ州から愛知県への企業誘致の可能性など意見交換しました。

愛知県議会議員 そのやま康男 活動報告

多くの方のご支援・ご協力とともに活動してきました。



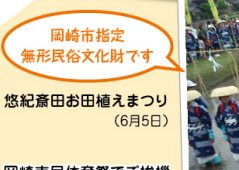
岡崎市藤川町 社会福祉法人愛知玉葉会 第二藤花荘 視察 (5月30日)



農政懇話会 (6月10日)



岡崎市本宿町 愛知県立心身障害児療育センター 第二青い鳥学園 視察 (5月30日)



岡崎市指定 無形民俗文化財です 悠紀斎田お田植えまつり (6月5日)



岡崎市民体育祭でご挨拶 (10月9日)



エコボラ・町民交流会 (10月16日) 町内美化と町民相互の親睦をめざした催しです

第二青い鳥学園 移転改築について (9月8日)

県庁にて愛知県健康福祉部障害福祉課から第二青い鳥学園の移転改築の概要について説明を受けました。

今回は愛知県と岡崎市の肢体不自由児・者父母の会の皆さんにも参加していただき意見交換も行いました。

施設機能は肢体不自由児施設50人、肢体不自由児施設(通園)20人、重症心身障害児施設90人、*空床型で短期入所5人を予定。診療科目は11科目、整備場所は岡崎市高隆寺町、敷地約20,000㎡、整備スケジュールは平成23年度基本設計、平成24年度実施設計、平成25~26年度本体工事、平成27年度開所の予定です。

肢体不自由児・者父母の会の皆さんから、保護者の意見を吸い上げる会議を実施してほしいなどの要望がありました。中身の濃い意見交換ができたと思います。



世界と戦える愛知

台風15号 (9月22日)

9月、この地方を襲った台風15号。岡崎市は災害対策本部より午後1時50分土砂災害警戒情報発表により宮崎学区426世帯に、また、午後2時15分乙川が氾らん危険水位に達したため乙川沿線沿い(竹橋から丸岡橋まで)の2,753世帯に対して避難勧告を発令しました。

去る7月20日の台風6号による豪雨で、一級河川乙川の一部が溢水による被害が発生し、愛知県は建設中の丸岡新橋上下流の堤防を緊急的に嵩上げすることにして、土のう積み等の工事を実施しました。そのときは議会開会中で、終了後すぐ現場に駆け付けましたが、地元の方は、このおかげもあり被害は前回より少なかったと言っていました。



水害・浸水対策 (10月7日)



美合大通の総代さんと市役所にて、今回の台風6号、台風15号による増水の原因や今後の対策について説明を受けました。

乙川頭首工(1号、2号洪水吐門、土砂吐門、魚道門)の施設説明、台風時におけるゲート全開の時間などを聞きました。対策としては、抜本的対策は河川改修で遊水地整備計画もあるが、緊急措置として愛知県は堆積土砂を取り除く計画を検討しているとの回答がありました。きちんと要望書として提出したいと思います。

道路整備 河川整備 現地調査 (10月19日)

愛知県西三河建設事務所道路建設課、担当建設会社、地元住民の方の立会いの下、現地調査を行いました。



その地域でその歴史があり、前任者もその理由があって要望をし、その行政もこれで良いと進めてきた経緯があります。お互いが話し合うことで解決していくことが、新たな実現の第一歩であると思います。

会派県外調査 みやぎきソーラーフロンティア構想 (10月21日)



宮崎県県政政策部総合計画課より「みやぎきソーラーフロンティア構想」の説明を聞きました。

この背景にはエネルギー問題(世界人口増加によるエネルギー消費量の増加と化石燃料の枯渇、環境問題(政府は2020年までに温室効果ガス25%削減を国際公約)があります。また宮崎県は、年間日照時間2,116時間(全国第3位)、年間快晴日数53日(全国2位)、太陽熱温水器世帯普及率38.8%(全国第1位) 太陽光発電システム世帯普及率3.39%(全国第2位)で日頃から太陽エネルギーの恩恵を受けています。

そこで「製造」「発電」「活用」の3拍子揃った太陽光発電の拠点づくりとして、①太陽エネルギーあふれる環境を全国に発信(メガソーラー全県展開プロジェクト)、②家庭レベルからのエネルギー自給率の向上(ソーラー住宅普及促進プロジェクト)、③地域資源(太陽エネルギー)を活かした産業の集積(ソーラー産業育成・集積プロジェクト)が展開されました。その他、電気自動車(EV・P.V)連携推進、温室ハウス冷暖房用太陽熱蓄熱システム、ピームダウン型集光装置など積極的に取り組んでいます。

現場は、都農町にある旧リニア実験線上に設置されたメガソーラーパネルを見学しました。写真ではわかりにくいかもしれませんが後ろが約4kmのソーラーパネルです。あいにくのどしゃ降り発電量は僅かでした。

岡崎市 建設事業の促進に関する要望書提出 (10月20日)

愛知県が事業主体である土木事業(道路整備、河川整備)を促進するための要望書が県庁議会議事堂で開催されました。



「自ら考え、行動すること」の大切さを教わりました!

金美齢さんと(10月9日)

会派国外調査 中国上海市 (10月31日~11月3日)

大村知事の親書を携えて、中国上海市の調査研究を行いました。内容は次の通りです。

●静岡国際上海事務所(静岡県中国駐在員事務所)にて県の紹介、観光PRなどを意見交換。●上海OSG(精密工具有限公司)を訪問。企業進出、雇人材確保、サービス体制など議論 ●2011中国国際工業博覧会に出席。愛知県出展ブース企業との中国進出について意見交換。●上海日比野(压铸・金属製品有限公司)を訪問。経営・人材管理、国内外意識、今後の展望などを議論。●崇明島工業パーク・総合企画展示館を訪問。●湿地地区視察。同済大学の水質・土壌関係の浄水技術を視察。●上海市農業科学院傘下のグリーン農場視察。●上海対外科学技術交流センターを訪問。などなど、たくさんの方々との意見交換ができました。



今回の日程は中国国際工業博覧会開催に合わせてであり、今後の愛知県からの進出企業への環境整備に繋がるものと考えます。また実際に進出に成功している企業から内容の濃いお話を聞けました。上海市は市だけで一つの国と言ってもいいでしょう。経済面から考えると巨大な人口は消費マーケットとして魅力的なかもれません。ただし、素人が進出して簡単に成功できるものではないです。

相当なハードスケジュールでした(移動中、昼食はかなり揺れる車中でハンパーガーも...)。やはり実情を知るために現地に行って、自ら直接議論や意見交換をし学ぶことが必要です。

最後に、現在、議会費を使用しての海外視察がマスコミを通じて話題になっています。我々のこの視察は政務調査費を使用することとして計画しましたが、協議の結果、準備不足もあり最終的に自費による海外視察となりました。

知事室訪問 (11月18日)

今回も岡崎市の要望で、大村知事にお会いしました。忙しい中を日程調整をしていただき感謝申し上げます。昼休憩中でした。時間的にはあつという間でしたが、一緒に訪問された皆さんには有意義な時間だったと思います。

この後、隣の部屋で待っている柴田理恵さんに「LOVEあいちサポーターズあいち親善大使」の委嘱が控えているということでした。いつご飯を食べるのだろうか?



地域の素晴らしさを再確認しました

「観光大使おさき」の星野治香さん(左)と杉本暎さん(右)

ぬかたふるさとまつり(11月11日)

会派県外調査 鹿児島下水汚泥堆肥化場 (10月22日)



鹿児島にある下水汚泥堆肥化場を視察しました。YM菌という菌を利用した施設です(EM菌とは全く異なります)。

YM菌とは、パチルス属等の特許微生物です。①90℃以上の超高温好気条件下で活発に有機物を分解、②水分調整材添加が不要、③臭気軽減効果、④安全性の高い

肥料、⑤付帯設備が少ない堆積型発酵がこの発酵施設の特徴です。導入のメリットとして、処理・処分費用の削減、CO2排出量の抑制、循環型社会システムの実現が挙げられます。

西三河建設事務所 要望書提出 (10月24日)

地域の総代さん達と、県道334号千方町豊川線、県道332号大代音羽線の道路整備の要望書を西三河建設事務所に出しました。



幹線道路で交通量も多く、大型トラックの通行も多いのですが、所々に狭い場所があり、出会いがしらに接触する事故も発生しています。

限られた予算の中で、ぜひ進めていただきたいとお願ひしてまいりました。



県議のお気に入り!

議会議事堂 種類食堂の「もりそば」はじめて登庁したときに、議会議事堂の一階の種類食堂でもそばを食べたら、ヒットいやホームラン級のおいしさ!私の味覚におごマッチしました。特につやが私には合います。いい仕事です。それからは、いつも「もりそば」530円!

11月定例会 知事提案説明 (11月29日)

11月議会が開会し、大村知事の提案説明がありました。主な内容は次の通りです。

大阪府知事・大阪市長選挙
今回、橋下さんが大阪の成長戦略と掲げる大阪都構想が、市民・府民の皆さんに支持された結果であり、私が掲げる中京都構想にとっても大きな弾みになると考える。これからは愛知と大阪が連携して、法制度の整備も含めて、その実現を国政にも働きかけていきたい。愛知と大阪が組んで、東京を巻き込んで、世界と戦える大都市・日本の成長エンジンとなって、これからは日本を支え、リードしていきたい

超円高・国内空洞化対策
本県経済の活性化・雇用の確保に取り組むことが最優先課題と考え、当面の緊急対策として、基幹産業であり裾野の広い自動車に係る税制の抜本的見直しとして今年2月には自動車産業が集積する7県が合同で、自動車取得税と自動車重量税の廃止を求める緊急声明を発表した。個人県民税減税については当面は自動車税制の抜本的見直しを始めとする産業空洞化対策に全力を傾注することとし、平成24年度においては、その実施を見送ることとした。また、「(仮称)産業空洞化対策減税対応基金」を設け、これを原資とする補助金制度を創設する。県が単独で法人県民税の10%相当額、50億円程度を毎年基金に積み立て、これを原資とする企業立地・研究開発投資・実証実験等に対する補助制度とする。

その他、来年度の予算編成、東三河県庁、国連ESDの10年最終会合、名古屋港水族館のシャチ、交通安全対策、補正予算などの説明がありました。

文教委員会 (12月9日)



文教委員会が開催されました。3件の口頭陳情がありました。口頭陳情運動公園サッカー場の人工芝化・ナイター設置などの整備、子どもと親が安心できる少人数学級の実現を求める、すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめる心のかよう学校をつくるについてです。一般質問では、免許外教科担任、教職員のメンタルヘルス、学校給食の放射能測定、災害拠点としての学校、奨学金制度などについて質問がありました。

行財政改革・道州制調査特別委員会 県内調査 (12月20日)

愛知県野外科センター、愛知県がんセンター愛知病院を調査しました。



野外科センターは岡崎市と新城市の境、標高600mに位置し、スギ、ヒノキの美林に囲まれた、豊かな自然の中での自然体験の場として親しまれている施設です。利用収入は平成21年度17,279,700円、平成22年度16,469,000円。野外科のほか、各種合宿、研修、デイキャンプなどの利用合計です。

がんセンター愛知病院は①がんに対する高度専門医療の提供②がん患者及び家族の生活の質の維持の向上を図るため在宅医療患者への対応を含めた緩和ケアの実施③結核、感染症、へき地医療支援の充実を目標に掲げ運営をしています。病床数は276床、岡崎市民病院は650床で、ともに西三河南部東医療圏の重要な病院です。

いずれも愛知県の行革大綱に係る重点プログラムに見直し・あり方の検討が取り上げられている施設です。十分に議論を重ね進めなければなりません。